



よこおたかふみ
横尾 貴文

市職員の夏季特別休暇の現況と
取得状況は

動画で一般質問を
ご覧いただけます



日数を変更する考えは

答弁 今後の状況変化で権衡を失しない場合は拡大を検討

問 行政の力の源泉の一つは他でもなく職員の働きであり、日高市の特性や行政課題、市民ニーズなどに深く通じた職員の存在は市政における大きな財産だ。官民を問わない人材確保難、災害・感染症対応、DXによる業務の再設計、行政へのニーズの増大など、地方公共団体を取り巻く環境は変化し続けている。休暇日数や休暇取得のしやすさは、日高市がいかに職員を採用し、いかにその定着を促すか、ひいては更なる生産性の向上をいかに実現させるかに直結し、市民生活の向上につながると考える。以上を踏まえ、本市の夏季特別休暇の現況と取得状況について伺う。

答 毎年度5日が付与され、原則7月から9月までに取得することができる。令和6年度の全体の平均取得日数は4.8日、取得率は96.5%、未消化日数は0.2日。近隣自治体と比較すると、所沢、飯能、入間が毎年度8日、狭山が7日の付与となっている。日数の変更については、年次有給休暇の取得日数が10.4日と県内40市の平均（14.2日）より低いこと、国や他の自治体職員との間で権衡を失わないようにする「均衡の原則」があるため、まずは年次有給休暇取得の増加に取り組み、今後の状況の変化で権衡を失わないような場合には付与日数の拡大について検討していく。



さとう まこと
佐藤 真

交通量増加が見込まれる旭ヶ丘
および周辺地区の交通安全対策を！

動画で一般質問を
ご覧いただけます



武蔵高萩駅北交差点の信号機設置は

答弁 引き続き信号機設置の必要性を要望していく

問 土地区画整理事業が進む旭ヶ丘松の台地区の交通安全確保の方策は。

答 定周期、押しボタン式の信号機の設置や、歩道、歩行者専用道路の設置が予定されている。また、地区内外から学校に向けての歩行空間と交差する箇所に、横断歩道、停止線が設置される計画である。

平和教育について

問 広島市平和記念式典への児童派遣が今年で6回目となるが、その成果は。

答 広島の現地で、戦争の悲惨さと平和の尊さを実際に見て、聞いて、真剣に学んできた児童

が、報告会や全校集会、広報などで平和への思いや学んだことを発表した。子どもや家族、多くの市民が平和について考える機会になることを期待している。

問 平和記念式典への児童派遣の成果を踏まえた今後の予定は。

答 参加した児童からは、平和に関する理解が深まり、貴重な経験ができたという意見が多く、保護者からもこの事業を多くの児童に経験してほしい、継続してほしいと大変好評な結果であった。市としても、大変有意義な事業と考え、継続ていきたい。

一般質問の原稿は議員の責任において掲載しています。